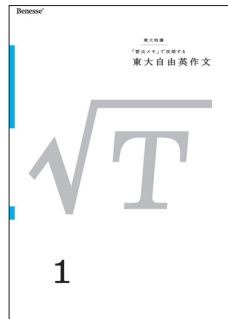


東大特講√T紹介

東大入試での合格ライン突破に向けた3か月(3回)完成集中講座。
東大入試ならではの問題の正しい「解法ルート」が身につく、今までになかった東大合格の確実がある。

開始月自由 3か月完成 1講座から

※教材のお届けは、毎月一回お届け(3か月)と3回一括お届け(一部例外あり)を選択できます。
詳しくは、HPのお申し込み内容をご確認ください。



「要点メモ」で攻略する東大自由英作文

受講期間

3か月(3回)完成・毎月添削課題つき

受講費

15,000円(3回分一括払い・消費税込)

お届け教材

テキスト：B5版約36P(解答解説別冊約24P挟み込み) 3冊

添削課題：3回

※各月(各回)テキスト1冊、添削課題1回をお届け。

制作チーム

灘高等学校 木村達哉先生

灘高等学校 和田孫博先生

元・灘高等学校 福岡正彦先生 ほか

※所属は2005年11月現在

書くべき要点を短時間で整理し、自分が使える英語で正しく書き上げる力を3か月で身につける。

出題意図を正確に読みとり、書くべき内容を短時間で整理・確定することが必要な東大自由英作文。英文を書く前に「要点メモ」を作成することで、的確な内容を自分の英語力に合った英文で書くことができる。本講座では、「要点メモ技法」を習得することで、スピードと正確さが求められる東大自由英作文攻略の力を養う。

特長

●出題形式別の攻略法を網羅

第1回・第2回では東大ならではの5つの出題形式に合わせた章立てで、それぞれの攻略法を伝授。第3回ではすべての出題形式の総合演習により攻略法を完全に習得する。

●表現の幅を広げられる豊富な別解

解説には模範解答のほか、東大生やネイティブスピーカーの解答例など多くの別解に触れられ、表現や発想の幅を広げられる。

●「解く力」の習得を重視した「プロセス指導」

解答そのものだけでなく、「問題文を解釈する」、「要点メモをつくる」、「正しい英語で書く」のプロセスごとに採点し、「解く力」の習得をめざす。

「要点メモ」で攻略する 東大自由英作文 見本

※ご紹介している内容・デザインは変更になる場合があります ※詳しいカリキュラムはHPでご案内しています

例題 1

次の会話文を読み、話がつながるように空所(1)～(3)を英語で埋めよ。(2)、(3)については、それぞれ10～20語程度とすること。

A: Say, what do you think was the greatest invention or discovery of the twentieth century?

B: That's a hard question, because there were so many of them. But if I had to name only one, it would be (1) _____.

A: Why?

B: Because (2) _____.

A: It may sound strange, but I take the opposite view. I think that was the worst because (3) _____.

(2001年度(前期) 東京大)

「要点メモ」で攻略する 東大自由英作文 見本

※ご紹介している内容・デザインは変更になる場合があります ※詳しいカリキュラムはHPでご案内しています

解法

序章で学んだ3ステップに沿って、考えていこう。

STEP1 >>> 解釈 出題意図を読み取る

この問題の会話から読み取らなくてはならない点は何か。Aの「20世紀の発明や発見の中で最も偉大であったと思うものは何か」という発言に対して、Bが答えているものを書くのが(1)である。この時点で安易に決めてはならない。「20世紀の発明や発見」だから、例えば「ダイナマイト」は当てはまらない。19世紀の発明だからだ。考えられるものとしては「自動車」や「テレビ」、あるいは「電話」などを挙げることができるだろう。いつ発明や発見がなされたのかわからない場合には、明らかに最近作られたもの、例えば「携帯電話」などを取り上げれば安全だ。

次にその理由を(2)に書くということをしっかりつかむ。この場合には(3)には「反対の理由」を書くのだということまで視野に入れておくことが望ましい。10~20語しか書けないので、理由は1つ書けば十分である。ただ「便利」という1点だけでは説得力に欠けるので、ある程度の具体性を持った理由であること。

最後に(3)の反論だが、... I take the opposite view. という英語が与えられているからといって、(2)の理由の反対である必要はないだろう。ここでいう the opposite view とは、(1)で提示したものをBが肯定的にとらえているのに対し、Aは否定的の見解であるという意味で用いたと考えよう。

解釈

- ★出題から読み取るべきこと＝会話の状況
 - ・20世紀の発明や発見で何が最も偉大かについて話している
- ★書くべきこと
 - (1) 20世紀の発明・発見で最も偉大なもの
 - (2) (1)が偉大だと思う理由
 - (3) (1)が最悪だと思う理由
- ★語数などの条件：(2)(3)は各10~20語で

「要点メモ」で攻略する 東大自由英作文 見本

※ご紹介している内容・デザインは変更になる場合があります ※詳しいカリキュラムはHPでご案内しています

STEP2 >>> 構築 書こうとする内容を確定させる

STEP 1 を踏まえてメモを作ってみよう。最初書いたとおり、最終的にはそれほどしっかりとしたメモでなくても構わない。実際、入試の会場でしっかりとしたメモを取る時間的な余裕はほとんどないだろう。ただし練習のときにはメモを書いてみることである。そのようなメモを頭の中で作れるようになれば、最強の受験生になれる。

メモを書き出す前に、まず頭の中でアイデアを出そう。例えば、下の案A~Dのように考えたら、次にどの案でメモを作るか、自分の英語力と照らし合わせて考えてみる。すると、それぞれ で述べたような理由で、取捨選択していけるだろう。

構築



では、案Bを採用するとして、下のメモ欄に例題のメモを書いてみよう。

○ 要点メモ

(1) _____

(2) _____

(3) _____

例えば次のようになる。

「要点メモ」で攻略する 東大自由英作文 見本

※ご紹介している内容・デザインは変更になる場合があります ※詳しいカリキュラムはHPでご案内しています

○ 要点メモ

- (1) ジェット機
- (2) 旅行が便利になった
 - ・遠くに行くのに時間がかからなくなった
 - ・陸続きでない国へも行ける
 - ・大勢の人を運べるようになった
- (3) 騒音公害がひどい
 - ・ジェット機の事故は大惨事につながることが多い
 - ・ハイジャックに悪用される危険がある

前の「遠く」と重なるのでカット

船でも可能なので、不採用

書きにくいのでやめる

次に、メモを見ながら正確に書くことのできる要素をピックアップしよう。「ジェット機」は英語で書けるだろう。(2)では、20語の枠の中でメモをした要素の中から自分で書くことができそうなものを選ぶ。例えば「旅行が便利になった」「遠くに行くのに時間がかからなくなった」という部分を取り上げることはできるだろう。(3)の反論では、「ジェット機」のマイナスポイントを挙げればよいのだから「騒音」などの公害を取り上げるか、あるいは事故に絡めてもよいだろう。

「要点メモ」で攻略する 東大自由英作文 見本

※ご紹介している内容・デザインは変更になる場合があります ※詳しいカリキュラムはHPでご案内しています

STEP3 >>> 発信 正確な英語で表現する

このようにして、自分の英語力で書けそうなメモを作ったら、解答欄に正確な英語で書こう。この段階でもまだ、メモの直訳では英文にできないかもしれない。そのときは、同じ意味のことを別の英語で表現したり、内容をかみ砕いたりして表してみよう。

例えば、(2)の「旅行が便利になった」は「ジェット機が旅行を便利にした」と考える。そして「時間がかからなくなった」はジェット機ができる前の船や列車での旅に比べているのだから、比較級で表す。(3)は言うまでもないが、自分の知識の範囲内で書くことが重要である。「騒音」は書いても「騒音公害」という語句を知らない場合は、「ジェット機の騒音が日常生活を害している」などとする。では、これを受けて、下の解答欄に書いてみよう。

解答欄

A: Say, what do you think was the greatest invention or discovery of the twentieth century?

B: That's a hard question, because there were so many of them. But if I had to name only one, it would be (1) _____.

A: Why?

B: Because (2) _____.

A: It may sound strange, but I take the opposite view. I think that was the worst because (3) _____.

(2001年度(前期) 東京大)

模範解答

A: Say, what do you think was the greatest invention or discovery of the twentieth century?

B: That's a hard question, because there were so many of them. But if I had to name only one, it would be (1) the invention of the jet plane.

A: Why?

B: Because (2) it has made travel convenient and it takes us a shorter time to travel to faraway places.

A: It may sound strange, but I take the opposite view. I think that was the worst because (3) the dreadful noise of the jets does our everyday life harm, and a jet plane crash can be a great disaster.